

平成26年度 第2回福岡市総合図書館運営審議会 議事録

- 1 日 時 平成26年12月5日(金) 午後1時30分～
- 2 場 所 福岡市総合図書館 3階 第2会議室
- 3 出席者 委 員：赤木智幸，西依節雄，山本幸雄，梶田由美子，坂田美和子，
八尋理恵，野田真由美，高橋昇，脇川郁也，黒岩俊哉，
岩井千華，島津摩季子（計12名）
図書館：久池井館長，北崎管理部長，坂本運営課長，矢野図書サービス課長，
西島文学・文書課長 他
傍聴者：1名（一部非公開審議となり，途中退室）

4 議事録

事務局：本日の次第の2議事の議題となっている「福岡市総合図書館新ビジョン事業計画の策定」については，教育委員会内部や他の部局において現在調整中の案件である。また，事業計画の内容についても，教育委員会会議においては非公開審議の案件として取り扱っている。よって，通常この運営審議会は公開審議であるが，このような理由により，議題である「福岡市総合図書館新ビジョン事業計画の策定」については非公開審議とし，先に次第の3報告事項を公開により報告し，報告後，傍聴人には退席してもらい，傍聴人退席後，非公開審議として次第の2議事に移りたいと考えているが，よろしいか。（全員異議なし）

それでは傍聴人が1名いるが，一部非公開となる場合もある旨については，事前に説明済みであり，入室を許可してよろしいか。（全員異議なし）（傍聴人入室）

事務局：開会にあたり福岡市総合図書館館長より挨拶を行う。（館長の挨拶）

（館長挨拶後，事務局より，委員交代により就任した新任委員の紹介）

事務局：ここからの議事進行は，会長にお願いする。

会 長：それでは，先程事務局から説明があったとおり，次第の3報告事項から始める。

報告事項1「前回審議会の振り返り」について事務局から報告願いたい。

事務局：（別紙の報告事項1「前回審議会の振り返り」について報告）

会 長：報告事項1について質問や意見はあるか。（委員からの質問や意見なし）

会 長：報告事項1については特に質問や意見はないようなので，次に報告事項2「平成26年度図書館マンスの取り組み」について事務局から報告願いたい。

事務局：（別紙の報告事項2「平成26年度図書館マンスの取り組み」について報告）

会 長：報告事項2について質問や意見はあるか。

- 委員：図書館マンスの取り組みの中で、本の交換会である「博多図書館ブック市」は、私も当日会場を訪れた。市民センター側で開催されていた他のイベント来場者も訪れ盛況であったようだが、来年度もこの事業は継続するのか。
- 事務局：次年度については未定であるが、各分館と協議をしながら検討していきたい。
- 委員：総合図書館の取り組みの中に「OPAC 講座」というものがあるが、「OPAC」とは何のことなのか？また、対象者や内容はどのような講座なのか？
- 事務局：「OPAC」とは「Online Public Access Catalog」の略で、「オパック」と呼ばれる蔵書検索システムのことであり、主に高齢者など機器の操作に不慣れな利用者を対象とする、使い方を教える講座である。
- 委員：誰もが当然に知っているような言葉ではないので、図書館の他の専門用語同様に、そのような説明を資料に記載すべきではないか？
- 事務局：普段から使用している言葉なので、少し配慮が足らなかった。今後は留意する。
- 委員：その他に博多南図書館の取り組み「さとしぶんこの紹介」や南図書館の取り組み「POP展示」も意味が不明である。
- 事務局：「さとし」は寄贈者の名前で、「POP」は本の紹介等に使用する簡易な表示物であるが、今後の広報にあたり、できるだけわかりやすい言葉を使うように心掛ける。
- 会長：報告事項2についてその他に質問や意見はあるか。（委員からの質問や意見なし）
- 会長：次第の3 報告事項についてはこれで終了するが、本日の委員の皆様の様々な意見を踏まえ、今後の図書館の運営に反映して頂きたい。
- 会長：これより次第の2 議事である議題「福岡市総合図書館新ビジョン事業計画の策定」に移る。冒頭に申し上げたとおり、これからは非公開審議とするため、傍聴人の方にはご退室をお願いします。（傍聴人退室）（傍聴人退室後、関係資料配布）

※これ以降の議事録及び配布資料については非公開とする。